

***1957~1958年頃のネガアルバムを発見—その2— (水晶時計、報時室など)**

アーカイブ室新聞第492号に書いた堂平観測所資料の中にあつたネガフィルムの報告の第2弾である。今回紹介する写真は、アルバムのメモには1958年3月、天文台写真、水晶時計、報時室、PZTと書かれた部分に入ったものである(写真1)。



写真1

おそらく1-4、1-5辺りが水晶時計、1-7、1-8辺りが報時室の様子であろう。1-12は国際特別報時とあり、モールス信号のように見えるが、30秒~44秒と書かれた当りは何か約束事がある、ツとやったのではないかと思う。1-18~1-22当りはPZTの制御室ではないかと思う。写真2が水晶時計と思われる写真である。



写真2 水晶時計？

写真3 (1-8) は報時室の様子であろう。



写真3 報時室の様子

写真4 (1-12) は、国際報時を受信したデータの様である。今となつてはこれがどういったものか分かる人は国立天文台にいない。このような出力が何かの形で残るのもいいことだと思ふ。

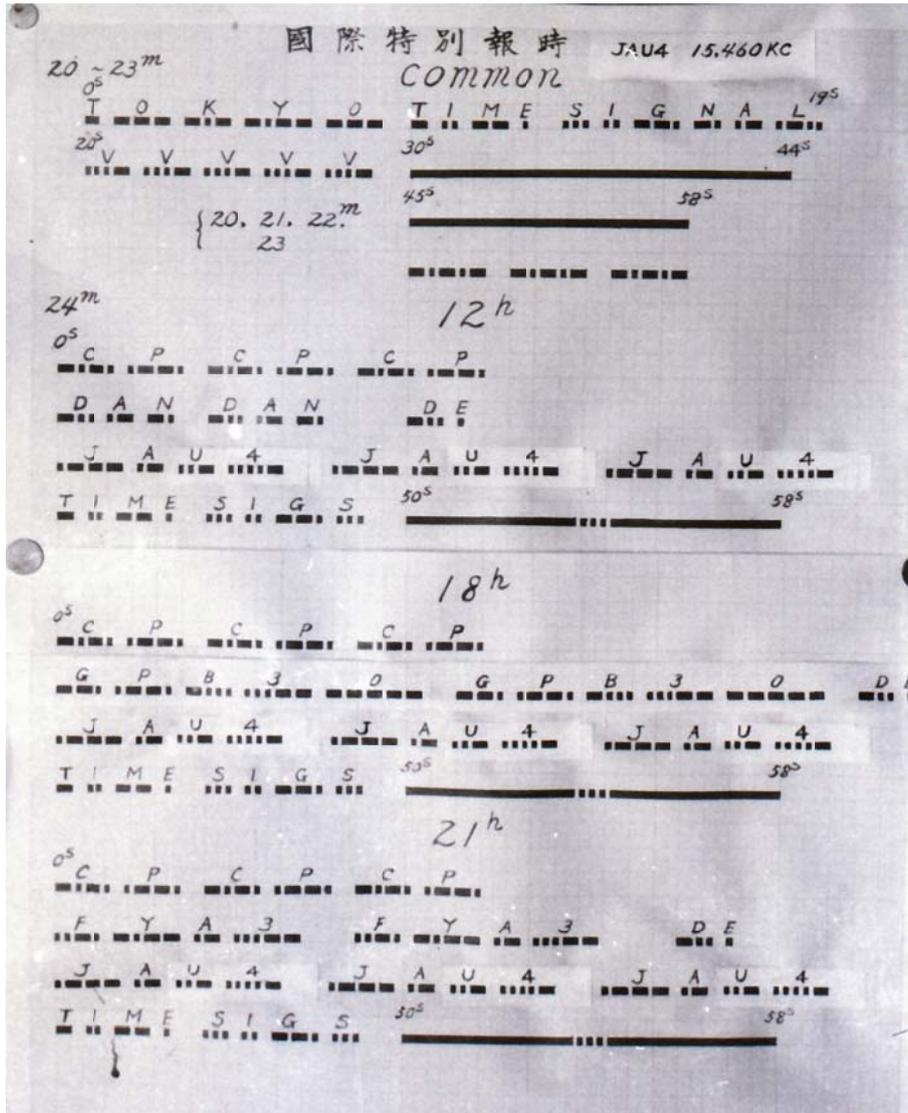


写真4 国際報時の受信データ？

写真5は、おそらくPZT（写真天頂筒）の制御室であろう。



写真5 PZT（写真天頂筒）制御室

これ等の写真は、天文台 51 年生の筆者にとっても初めてみるものである。歴史的な資料として保存したい。

これらアーカイブ室新聞の記事にお気づきのことがあれば、編集者中桐にご連絡いただければ幸いです。中桐のメールアドレスは、arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp